

Case : 281

裏表を間違えて、マットごとすべりそうになる

### 場面の説明

浴室用のすべり止めマットに裏表があることを知らず、裏返しで置いてしまったため、マットごとすべってしまった



|                |  |
|----------------|--|
| 利用シーン          |  入浴     |
| 主な利用場所         |  浴室・脱衣所 |
| 介護保険の種目        | —  |
| 分類コード (CCTA95) | 093306 (滑り止め用品)  |
| 介護テクノロジー       | —  |
| 二次元バーコード       |        |

### 解説

入浴を安全に行うためのすべり止めマットで、吸盤ではないタイプでは、裏と表の違いが分かりづらいものがあります。間違えて反対に置いてしまうと、滑り止めの効果がないばかりか、かえって滑りやすくなる時もあり、とても危険です。また、種類によっては使用を浴槽内に限定しているものもあります。製品自体にはこのような使用上の注意点が表示されず、開封して使い始めるとわからなくなってしまうことも多く、納入時のしっかりとした説明が大切です。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：裏表のある製品だということを知らなかった
- 人：裏返しで設置したことに気が付かなかった
- モノ：裏表の違いが分かりづらいデザインだった
- モノ：製品本体に注意事項の表記が無かった
- 管理：パッケージに記載されていた注意事項を捨ててしまった